

ストップ結核パートナーシップ関西 第11回ワークショップ
テーマ:ネパールに学ぶこれからの日本の結核対策

主催:ストップ結核パートナーシップ関西
共催:一般財団法人・大阪府結核予防会
認定特定非営利活動法人・ストップ結核パートナーシップ日本
協賛:一般財団法人・大阪府結核予防会
:一般財団法人・大阪防疫協会

○とき : 2024年3月16日(土) 13:30~16:30
○ところ : 大阪大学中之島センター 7階セミナー室(7C・7D)
〒530-0005 大阪市北区中之島4丁目3-53

日本は結核低まん延国となりましたがアジア諸国はまだ高い状況にあります。日本はアジア諸国の人々に介護、農林漁業、事業所の就労を頼ってきていることからアジア諸国の結核問題の解決が日本の結核の将来を規定しています。そこで、ネパールの結核対策の状況と比較して日本の結核対策の今後を考えてみることにします。

記

<開会の辞>(敬称略)

高鳥毛敏雄(ストップ結核パートナーシップ関西・代表)

<基調講演>(13:30~14:00)

日本の結核対策のこれまでを踏まえて今後を展望する

演者 森 亨(ストップ結核パートナーシップ日本・理事長)

<ワークショップ>

I部 ネパールと日本の結核の現状を学ぶ(14:00~15:00)

座長 下内 昭(結核予防会ネパール事務所現地責任者・結核研究所主幹)

1)ネパールの結核対策の現状とそこから学べるもの(患者発見)

演者 下内 昭(結核予防会ネパール事務所現地責任者・結核研究所主幹)

2)結核高まん延地域の結核対策のあゆみ

演者 竹川美穂(大阪市西成区役所保健福祉課・保健師)

3)建設会社共同寮生活者に対する結核対策

~LTBI治療を見据えた接触者健診と2剤併用治療(3HR)による感染連鎖の根絶に向けて~

演者 板東知子(大阪府茨木保健所地域保健課・保健師)

II部 ネパールの結核対策から学べるもの(15:00~16:00)

「日本の結核高まん延地域の結核対策のあゆみとそこから見えてくるもの」

座長 橋本章司(大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター・臨床研究センター長)

1)患者管理・多剤耐性結核治療

報告者:下内 昭(結核予防会ネパール事務所現地責任者・結核研究所主幹)

2)患者管理

報告者:高橋峰子(大阪市保健所・感染症対策課・保健師)

3)医療体制

①低まん延地域における医療体制

報告者:藤川健弥(国立病院機構兵庫中央病院呼吸器内科・医師)

②高まん延地域における医療体制

報告者:工藤新三(社会福祉法人大阪社会医療センター附属病院・医師)

4)結核菌の分析からみた大阪の結核

報告者:山本香織(地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所・主任研究員)

III部 総合討論(16:00~16:30)

座長 川崎 良(大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座(公衆衛生学)・教授)

高鳥毛敏雄(関西大学社会安全学部・社会安全研究科・特別契約教授)